

第 36 回カタリシススクール 講師紹介

宍戸 哲也 (ししど てつや) 先生 校長

東京都立大学大学院都市環境科学研究科環境応用化学域教授。昭和 45 年生。1997 年北海道大学院工学研究科分子化学専攻博士課程修了 博士 (工学) (北海道大学)。1997 年広島大学大学院工学系研究科応用化学専攻助手, 2003 年東京学芸大学助教授, 2005 年京都大学大学院工学研究科分子工学専攻准教授を経て 2013 年より現職。2009 年触媒学会奨励賞受賞、2009 年石油学会奨励賞受賞。

趣味=テニス, 読書, スポーツ観戦 (特にサッカー、テニス、ラグビー)。

受講生に対して一言

「化学反応を自在に操るツールとしての触媒の科学を楽しんでください」



一國 伸之 (いちくに のぶゆき) 先生

千葉大学大学院工学研究院共生応用化学コース教授。昭和 41 年生。平成 6 年東京大学大学院理学系研究科博士課程修了, 博士 (理学)。千葉大学工学部応用化学科助手。同大講師, 助教授, 准教授を経て, 平成 29 年より現職。

趣味=マラソン, フランス。

受講生に対して一言

「触媒の機能は活性種の構造で大きく変化していきます。目的の構造をいかに作り出していくかは簡単ではありませんが, それだけに触媒研究は非常に面白いものです！」



山添 誠司 (やまぞえ せいじ) 先生

東京都立大学大学院理学研究科教授。昭和 56 年生。平成 20 年京都大学大学院分子工学専攻博士後期課程修了。博士 (工学)。平成 19 年日本学術振興会特別研究員, 平成 20 年龍谷大学理工学部物質化学科助教, 平成 24 年東京大学大学院理学系研究科化学専攻助教を経て, 平成 29 年より現職。平成 20 年第 1 回 SPring-8 萌芽的研究支援ワークショップ SPring-8 萌芽的研究アワード賞最優秀賞, 平成 28 年 CREST「分子技術」第 4 回ライジング・スター賞, 平成 28 年ナノ学会第 14 回大会 Nanoscale Horizon 賞。

趣味=ドライブ、子供とゲーム、放射光での測定。

受講生に対して一言

「触媒の機能と構造の関係を解き明かしましょう」



小林 広和（こばやし ひろかず）先生

東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻相関基礎科学系／先進科学研究機構准教授。昭和 57 年生。平成 21 年東京工業大学大学院理工学研究科応用化学専攻博士後期課程修了、博士（工学）（東京工業大学）。平成 21 年北海道大学触媒化学研究センター助教、平成 27 年北海道大学触媒科学研究所助教、令和 4 年より現職。平成 28 年度日本化学会進歩賞、2019 年度触媒学会奨励賞、令和 4 年第 11 回新化学技術研究奨励賞受賞。

趣味＝中華料理を作る、卓球。

受講生に対して一言

「反応速度論は触媒反応の振る舞いを理解するために欠かせません。」



梨子田 敏也（なしだ としや）先生

日揮ユニバーサル株式会社研究所環境触媒研究室室長。平成 7 年千葉大学工学部応用化学科卒業。同年日揮ユニバーサル株式会社入社。石油精製用触媒、環境浄化用触媒の製品開発に従事し、令和 4 年より現職。令和 6 年より、触媒学会工業触媒研究会代表。

趣味＝スキー、ゴルフ、将棋、読書、近隣巡り

受講生に対して一言

「環境浄化触媒の実用的側面を紹介できればと思っています」



山松 節男（やままつ せつお）先生

ビック情報株式会社顧問。工学博士。企業、大学で研究人材教育（戦略思考の言語化）に力を入れている。JST 先端的低炭素化技術開発（ALCA）辰巳 PJ 分科会委員。NEDO 技術委員。昭和 25 年生。昭和 50 年東京大学大学院工学系研究科合成化学専攻修士課程修了。同年旭化成工業（現旭化成）株式会社入社。平成 22 年旭化成ケミカルズ株式会社退職。平成元年度日本化学会化学技術賞、平成 12 年度日本化学工業協会総合賞、平成 14 年度触媒学会賞（技術部門）、平成 18 年度中国地方発明賞発明協会会長奨励賞、平成 20 年度全国発明表彰、平成 20 年度日本化学会化学技術賞、平成 21 年度スガウェザリング技術振興財団科学技術賞受賞。

趣味＝（１）レシピ通りに正確・精密に料理を作りレパートリーを拡げること、（２）24 時間フィットネスクラブで汗を流すこと。

受講生に対して一言

「"触媒研究"を対象にお話しますが"研究・開発への向き合い方"、"考え抜く力&人を動かす力"の何たるかを感じ取っていただければと思います。」



多湖 輝興（たご てるおき）先生

東京科学大学物質理工学院応用化学系教授。昭和45年生。平成10年京都大学大学院工学研究科化学工学専攻博士後期課程修了。平成10年博士（工学）（京都大学）。平成10年九州大学大学院工学研究科助手，平成14年北海道大学大学院工学研究科助手，平成18年同助教授（准教授）を経て，平成27年より現職（令和6年10月に東京工業大学から東京科学大へ名称変更）。平成21年度触媒学会奨励賞，令和2年度化学工学会研究賞受賞。

趣味＝名城スタンプラリー，筋トレはじめました。

受講生に対して一言

「触媒反応工学は，反応装置の設計だけでなく，反応条件の設定や触媒性能の評価に有効です。」



室井 高城（むろい たかしろ）先生

アイシーラボ代表，産業技術総合開発機構(NEDO) 技術戦略センター客員フェロー，1968年福島高専工業化学科卒。住友金属鉱山株式会社入社。昭和1969年日本エンゲルハルト株式会社(現エヌ・イーケムキャット株式会社)出向。2003年同執行役員。2006年触媒学会副会長。2008年BASFジャパン主席顧問。2005年触媒学会功績賞。一貫して工業触媒の開発に従事。著書「工業貴金属触媒」JETI「工業触媒の劣化対策と再生，活用ノウハウ」サイエンス&テクノロジー「触媒からみる炭素循環技術 2021」シーエムシー・リサーチ「廃プラスチックのケミカルリサイクル」サイエンス&テクノロジー
趣味＝水彩画，野草。

受講生に対して一言

「工業触媒は目的ではありません。実学です。役に立たなければ何の意味もありません。」



河尻 耕太郎（かわじり こうたろう）先生

近日公開。

里川 重夫（さとかわ しげお）先生

成蹊大学理工学部理工学科教授。昭和 38 年生。昭和 63 年早稲田大学大学院理工学研究科修士課程修了。平成 11 年博士（工学）（早稲田大学）。東ソー株式会社、東京ガス株式会社勤務を経て平成 18 年度成蹊大学理工学部助教授，平成 19 年度より現職。平成 10 年度日本粘土学会奨励賞，平成 17 年度触媒学会奨励賞，平成 28 年度および 30 年度石油学会論文賞，平成 30 年度触媒学会教育賞。最近では合成燃料の研究開発に従事。

趣味＝旅行，食べ歩き，鉄道，ドライブ，ものまね。

受講生に対して一言

「劣化を正しく捉えることは触媒の工業化に必要な不可欠です」



宮崎 玲（みやざき れい）先生

北海道大学触媒科学研究所助教。平成 3 年生。令和 2 年北海道大学大学院総合化学院博士後期課程修了。博士（理学）。令和 2 年北海道大学触媒科学研究所博士研究員，令和 3 年 Fritz Haber Institute of the Max Planck Society 博士研究員を経て，令和 5 年より現職。令和元年第 123 回触媒討論会学生ポスター発表賞，令和元年第 8 回 JACI/GSC シンポジウム GSC ポスター賞，令和 6 年第 26 回理論化学討論会優秀講演賞。

趣味＝野球，プロレス観戦，日本酒，にわか楽器演奏。

受講生に対して一言

「理論計算・AI は触媒反応を視る新しい“目”を育みます」

